



第4回東アジア臨床哲学会議

哲学の再定義： 東アジアの活動から

日時：2024年1月27日（土）・28日（日）
会場：大阪大学 中之島センター 8階会議室
（大阪市北区中之島4-3-53）

【会議の趣旨】

現代の「哲学」は、古典研究の枠組みを超えた多様な展開を見せている。生活する人々と関わる中で、人々とともに哲学する「哲学プラクティス」がある。あるいは「世界哲学」という名前で、近代西洋的な枠組みを批判的に拡張・解体しようとする試みがある。

東アジア臨床哲学会議でも、これらの新たな哲学に関連して多くの報告や議論が積み重ねられてきた。第4回目を迎えるにあたって「哲学とはどのような活動か」について議論したい。参加する東アジア各国・各地域における哲学の活動を踏まえ「哲学の再定義」を試みたい。

- ・言語：日本語・中国語・英語 ・申込不要・参加無料
- ・問い合わせ：horie.tsuyoshi.hmt@osaka-u.ac.jp（堀江剛）
- ・会場URL：<https://www.onc.osaka-u.ac.jp>
- 主催：大阪大学大学院人文学研究科 臨床哲学研究室
- 共催：科研費JP23K00009

プログラム

09:00-09:30

開会挨拶・来賓紹介：堀江剛（大阪大学）

1月27日（土）

09:30-10:45

作為倫理行動的存在現象學還原：在心理治療中的實踐為例

Existential-Phenomenological reduction as an ethical move: As practiced in psychotherapy

Presenter：李維倫 LEE Wei-Lun（國立政治大学）

10:45-12:00

非历史的利与弊：论末人的生存方式

The Use and Abuse of A-historical: On the Way of Being of the Last Man

Presenter：楊小剛 YANG Xiaogang（中山大学）

（昼食休憩）

13:30-14:45

Philosophical Life in the Posthuman Age

ポスト・ヒューマン時代の哲学的人生

Presenter：이영의（李英儀） RHEE Young E（高麗大学）

14:45-16:00理解“文科”：“人文学科（humanities）”概念的源流、语言多样性与哲学翻译

Understanding "wenke":

the history of the concept of humanities, language diversity and philosophical translation

Presenter：潘大為 PAN Dawei（中山大学）

09:00-10:15

從高達美式視角反思健康照護

Some Reflections on Healthcare from a Gadamerian Perspective

Presenter：蔡偉鼎 TSAI Wei-Ding（國立政治大学）

1月28日（日）

10:15-11:30

「社会のなかで生きる哲学」とはどのようなものか？

What does "philosophy living in society" look like?

Presenter：山本和則 YAMAMOTO Kazunori（Café Philo）

松川えり MATSUKAWA Eri（Café Philo）

11:30-12:45

震災と言葉：被災地における哲学対話の可能性

The Disaster and Words: The Possibilities for Philosophical Dialogue in Disaster-affected Areas

Presenter：西村高宏 NISHIMURA Takahiro（福井大学）

（昼食休憩）

14:30-16:00

テーマ討論：哲学の再定義

Moderator：堀江剛（大阪大学）

Discussant：李維倫・蔡偉鼎（國立政治大学）・張存華（輔仁大学）

楊小剛・潘大為・張偉・朱剛・李樺・廖欽彬（中山大学）

李英儀（高麗大学）・張政遠（東京大学）

西村高宏（福井大学）・山本和則・松川えり（Café Philo）

16:00-16:15

閉会挨拶：朱剛 ZHU Gang（中山大学）